

日本大学 学生FD

CHAmmit

ちゅみっと 2013

～学生が変える日本大学～

いつ・どこ

いつ 平成26年 2月26日 (水)

どこ 日本大学 法学部 10号館

プログラム

- 11:00～11:05 オープニングスピーチ
- 11:10～11:55 共同企画「日大学生FD入門」
- 12:15～15:50 学生参画型企画
- 15:50～16:00 エンディングスピーチ
- 16:10～17:00 懇親会

さんかしゅ

日本大学 全学部全学科 学生・教員・職員

「CHAmmit」

日本大学の全学部が参加する、初めての学生FDイベント。
「Chat」と「Summit」を組み合わせた造語です。
でも、そもそも学生FDってなんだろう？



日本大学FD推進センター

趣 旨

大学の授業をより良くするための代表的な活動にFD(Faculty Development)があります。FD活動は本来、教員、職員、学生が三位一体となって大学を改革・改善していく取り組みです。

「日本大学 学生FD CHAmmit 2013」は、学生が主体となり、教職員と連携して教育をより良いものにしたいという思いから始まりました。本学において、今回がその記念すべき第一回目です。これを機に、各部科校において、今後“学生FD”活動が発展することを期待しています。

テーマ

“学生が変える日本大学”



学部の垣根を越えた活発な意見交換で
日本大学をより良くしていきましょう♪

～ご参加の皆さまへお願い～

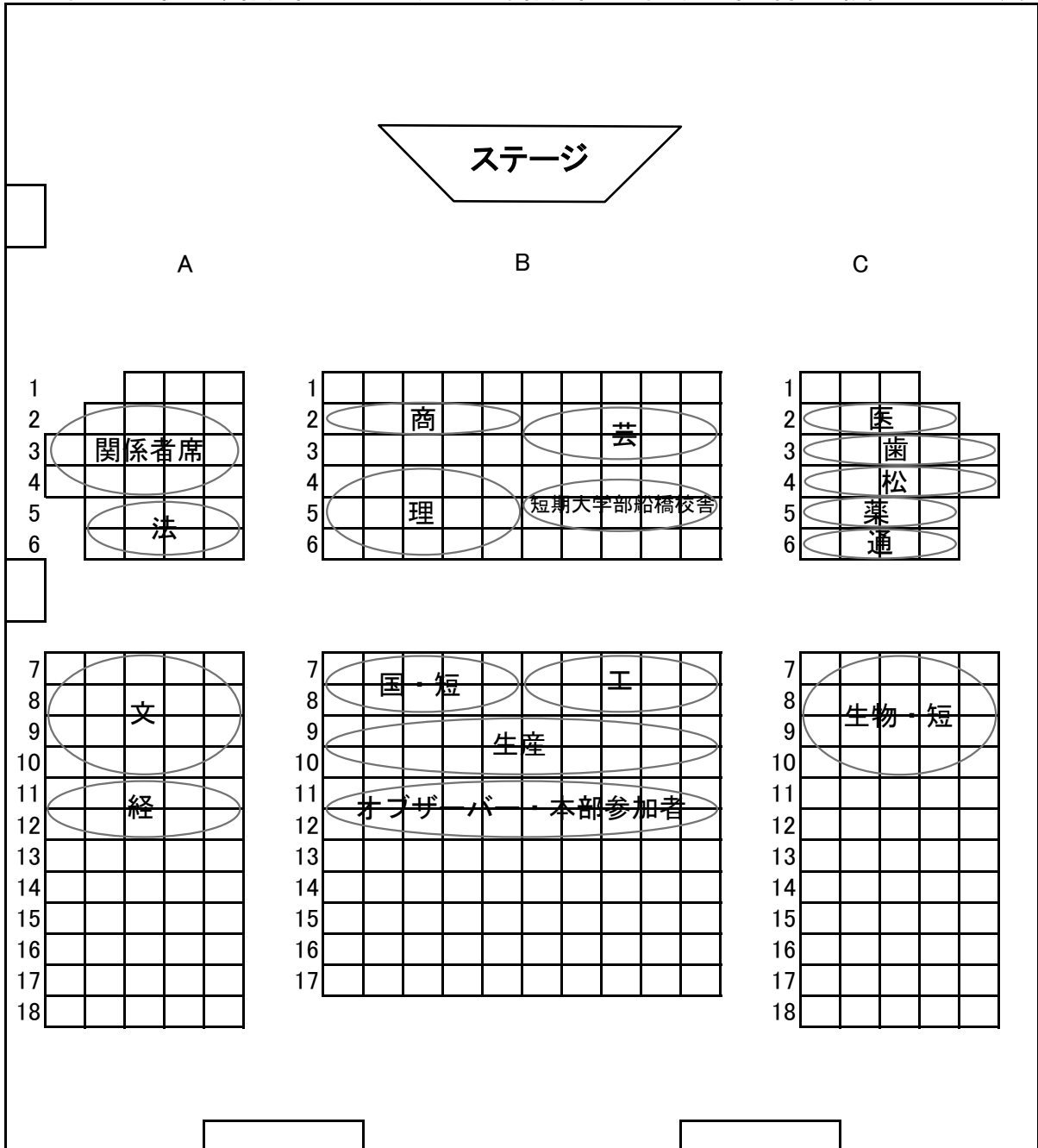


- ◆携帯電話は電源をOFFにするかマナーモードに設定してください。
- ◆喫煙所は2階にございますのでそちらをご利用ください。所定の場所以外での喫煙はご遠慮いただきますよう、ご協力お願いいたします。
- ◆使用しないフロアへの立ち入りはご遠慮ください。

※分からないことがありましたら、学生コアメンバー又は教職員スタッフに遠慮なくお尋ねください。

座席表

〔オープニングスピーチ, 共同企画, 学部ミーティング発表, エンディングスピーチ〕
 ※下記の図に従って, 各学部ごとにお座りください。各学部の座席付近に案内掲示が設置されています。



- A**
 2～4列: 関係者席
 5～6列: 法学部
 7～10列: 文理学部
 11～12列: 経済学部

- B**
 2列: 商学部
 2～3列: 芸術学部
 4～6列: 理工学部
 4～5列: 短期大学部船橋校舎
 7～8列: 国際関係学部・短期大学部三島校舎
 7～8列: 工学部
 9～10列: 生産工学部
 11～12列: オブザーバー・本部参加者

- C**
 2列: 医学部
 3列: 歯学部
 4列: 松戸歯学部
 5列: 薬学部
 6列: 通信教育部
 7～10列: 生物資源科学部
 短期大学部湘南校舎

プログラム詳細

司会進行： 学生コアメンバー 経済学部経済学科 2年 田仲 義典
学生コアメンバー 工学部土木工学科 2年 浅野 和香奈

【10:20~】受付開始

【11:00~11:05】オープニングスピーチ（場所：1011 講堂）

・オープニングスピーチ・・・全学FD委員会プログラムワーキンググループリーダー
商学部 教授 村田 英治

【11:10~11:55】共同企画（場所：1011 講堂）

・「日大学生FD入門」・・・・・・・・・・・・・・・・岡山大学 教育開発センター
准教授 天野 憲樹 氏
文理学部 学生FDワーキンググループ

企画等説明・・・・・・・・・・・・・・・・全学FD委員会プログラムワーキンググループメンバー
(11:55~12:05)

短期大学部船橋校舎 教授 羽入 敏樹

本部 学務部教育推進課 後藤 裕哉

学生コアメンバー代表 商学部経営学科 3年 瀬良 兼司

— 移動 —

(12:05~12:15)

【12:15~15:50】学生参画型企画

・12:15~12:35 **学部ミーティング①**（場所：3~4階, 10~12ページ参照）
— 移動 —

オール日大ミーティング（場所：5~6階, 13~19ページ参照）

・12:45~13:15 ランチ会

・13:15~14:15 ちゃみっと——く！

・14:15~14:35 ちゃみっと——く！発表会

— 移動 —

・14:45~15:50 **学部ミーティング②**（場所：3~4階, 21ページ参照）
※発表は1011 講堂

【15:50~16:00】エンディングスピーチ（場所：1011 講堂）

・エンディングスピーチ・・・全学FD委員会プログラムワーキンググループメンバー
芸術学部 教授 原 直久
学生コアメンバー代表 商学部経営学科 3年 瀬良 兼司

【16:10~17:00】懇親会（場所：法学部本館 地下食堂）

天野先生 × 日大文理学生FDWG presents

共同企画

日大学生FD入門



岡山大学
天野憲樹先生
解説・講演



文理WG
近藤晃生
日大教授 役



文理WG
前川貴恵
優秀な学生 役

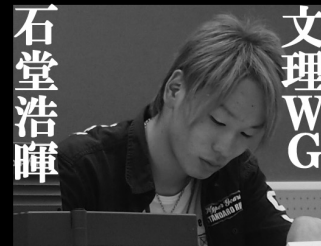


文理WG
今宮加奈未
司会進行

解説・司会



文理WG
安田結城
ありふれた学生 役



文理WG
石堂浩暉
授業が嫌いな学生 役

寸劇キャスト

“学生FD”って何？ どんな意味があるの？

profile

天野 憲樹(あまの のりき)先生

岡山大学教育開発センターFD部門准教授，博士(情報科学)。

同大学の学生・教職員教育改善専門委員会「SweetFood」にて，学生参画型教育改善活動を推進。日本大学文理学部出身。

講演経歴：「学生参画型FDの概要と展望*1」「教員と学生のための実践的なICTの活用*2」等

日大文理学生FDWG (にちだいふんりがくせいFDワーキンググループ)

正式名称は，「日本大学文理学部学生FDワーキンググループ」。

2012年10月，2名の文理学部生により発足。半年後，学部FD委員会公認の下部組織となる。

総スタッフ数11名。年に一度，「学生発案型授業」の創作や学内広報に取り組む。

* 1)2013年7月「大学評価フォーラム」(大学評価・学位授与機構) 2)2012年7月「FD講演会」(文理学部)

どんな活動が学生FD？

あなたが学生FDだと思う活動にチェックを入れてください。

※教員・職員の方は、学生に「積極的にしてほしい」、あるいは、「一緒にしてみたい」と思われる活動にチェックを入れてください。

- ①学期末の「授業アンケート」に答える。
- ②授業時間後(外)に、先生に授業内容についての感想を述べる。
- ③授業時間後(外)に、先生に授業の手法についての感想を述べる。
- ④教室が寒くて学修しづらいので、学生課に暖房の設定温度変更を頼む。
- ⑤学食のラーメンがどう考えてもマズすぎるので、学内で署名を集めて学生課にメニューの改訂を提案する。
- ⑥夜遅い時間危ないので、学内の街灯を増やしてもらう。
- ⑦学修の仕方についてよく分からない友人や後輩のために、勉強を教えてあげる。
- ⑧同じ授業を受けている他の学生のために、授業に関連する書籍をピックアップし、「参考文献紹介」のコーナーを学内に特設(チラシで掲示)する。
- ⑨他大学(学部)ではどのような授業が展開されているのかを知るために、学内で交流イベントを開催し、他大学の学生・教員・職員を招く。
- ⑩素敵だと思う先生の授業についてインタビューを行い、パンフレットを作成し、他の学生や教員・職員へあてて配布する。
- ⑪自分が受けてみたい授業のテーマについて、教員に提案する。
授業の開講に関わる。

MEMO

～日本大学 学生FD CHAmmitの楽しみ方～

今回の日本大学 学生FD CHAmmitにおける話し合いの場で目指すのは、この場にいるみんなで楽しく話すことで、あなたの発想が広がるような場にすることです。答えを出したり、深く議論したり、話をまとめる場ではありません。

その意見が「良い・悪い」「正しい・間違っている」という発言をすると発想が広がらなくなってしまう。

小さな気づきも、新しいアイデアや発見につながるかもしれません。

みなさんが今から移動する教室の机の上には模造紙と付箋が用意されています。その付箋には、小さな気づき、ふとした疑問、今ここで感じていることなどを、マジックで気軽にメモしてください。その後、メモした付箋を模造紙に貼って行ってください。意外な発見、素敵な出会いにつながるかもしれません。

～よりよい話し合いの場にするために～

1. 積極的に発言しよう！

誰かに任せない・頼らない・この話し合いの場はみんなで作っていくものです。

2. 本音を言い合おう！

頭ごなしに否定しない（特に教職員）、礼節を保って（特に学生）本音を言い合おう。

3. 良い聞き手になろう！

相手を想い、相手の意見を尊重しましょう。

4. 意見・アイデアは質より量！

1つのアイデアを深めるよりも、多くの意見を出しましょう。

学部ミーティング①

【場所】 3・4階 各教室

しおりの11～12ページを見て自分の学部の教室へ移動しよう！

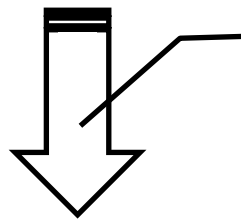
【時間】 12：15～12：35

【目的】 『学部ミーティング①』では、学生・教職員が同じ場で話し合い、各学部の具体的な問題点・評価点を挙げる。

まずは自己紹介をしてお互いのことを知ろう！

テーマ

各学部ごとに授業、教育、学修の問題点・評価点を話し合う。



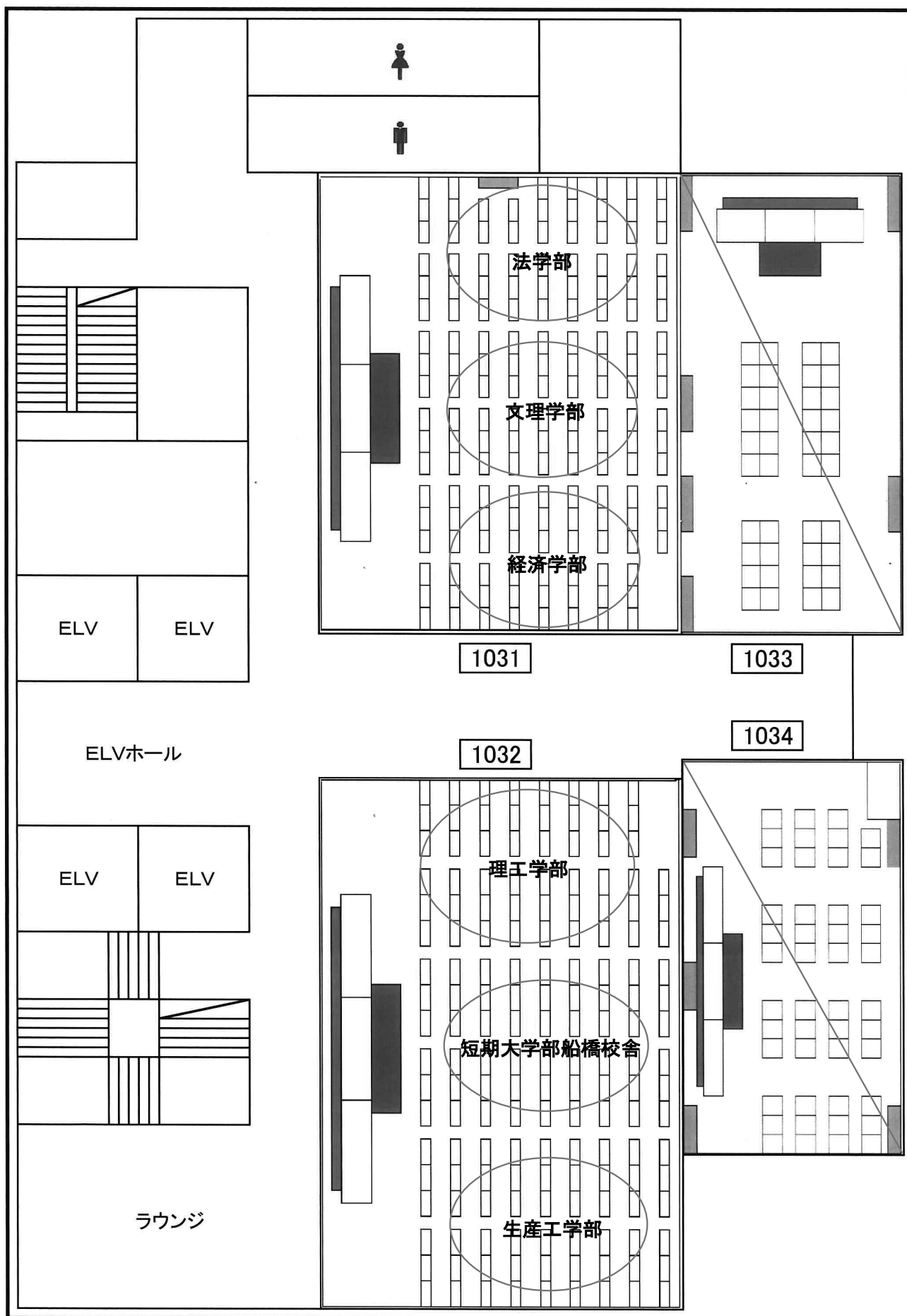
「学部ミーティング①」・「オール日大ミーティング」を経て、学生・教職員の意見をそれぞれ「学部ミーティング②」でまとめる。

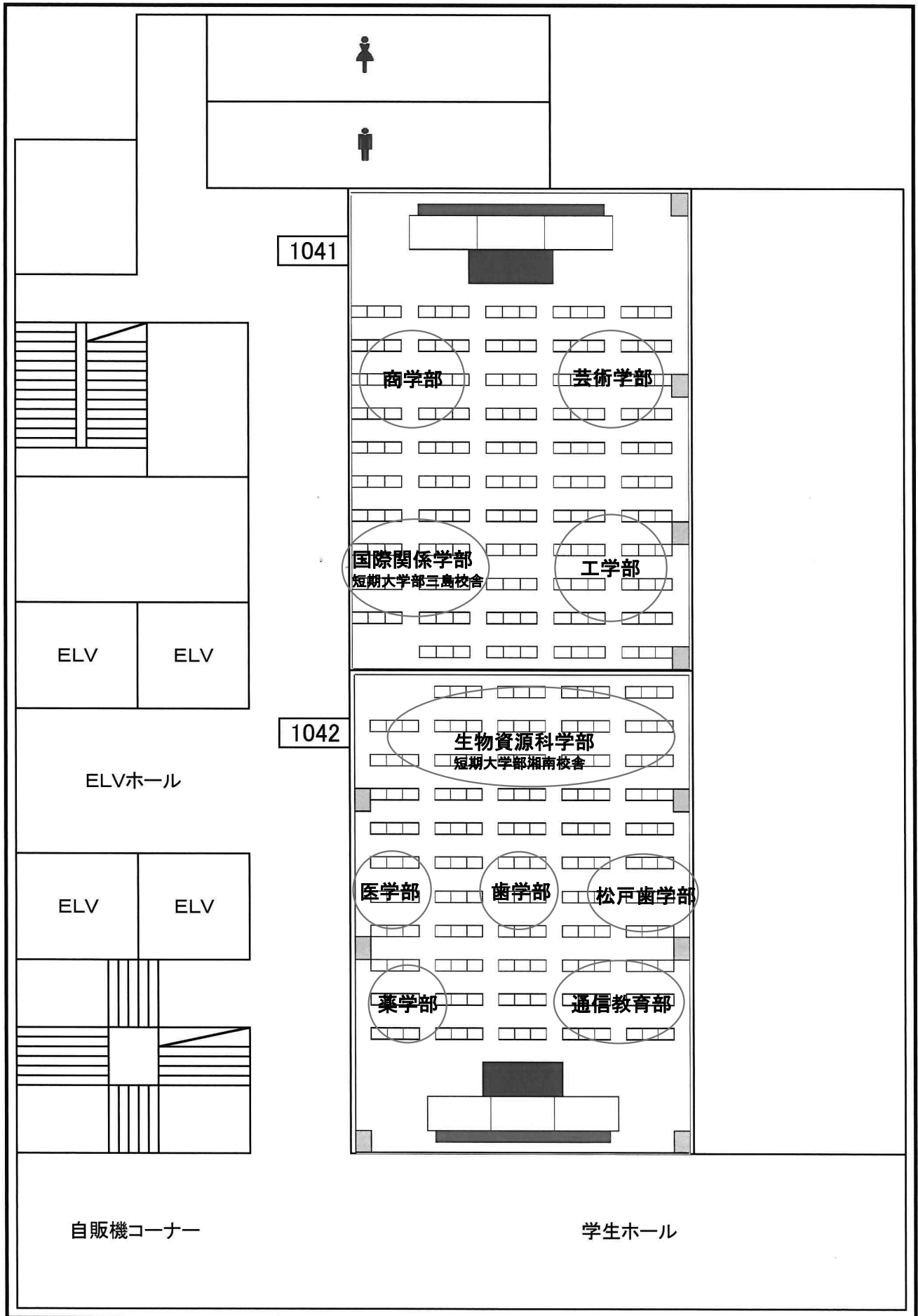
学部ミーティング②へ

～ MEMO ～

〔学部ミーティング①&②用館内マップ〕

※マップに従い、学部ごとに島を作り、ミーティングを行います。





オール日大ミーティング

【場所】 法学部10号館 5～6階 各教室

しおりの15～18ページを見て、自分の班の教室へ移動しよう！

【時間】 12:45～14:15

【目的】 学部という垣根を越え、自分の学部・学科の良い点を上げ、そこから学べることや残していくべきことを明確にする。学生と教職員それぞれの意見を共有したい。

ランチ会

12:45～13:15

ちゃみっとーく！

13:15～14:15

【流れ】

① しおりの15～18ページに記載されている班別名簿・マップにしたがって、それぞれ班(A, B, C...)を作る。

② 「学部ならではの楽しい授業・実習」について話し合う。

しおりの15～16ページに記載されているとおり、班を2つ(A-1, A-2...)に分けてそれぞれ話し合う。

① 「自分の受けている・教えている授業はどんなものか？(良いと思う授業・あまり面白くないと思う授業)」について話し合い、付箋を模造紙に貼っていく。職員の方は、テーマについて自身の立場(職員として・学生時代を振り返って)で参加してください。

② 「①から考える望む授業はどんなものか？」について意見を述べ、付箋を模造紙に貼っていく。

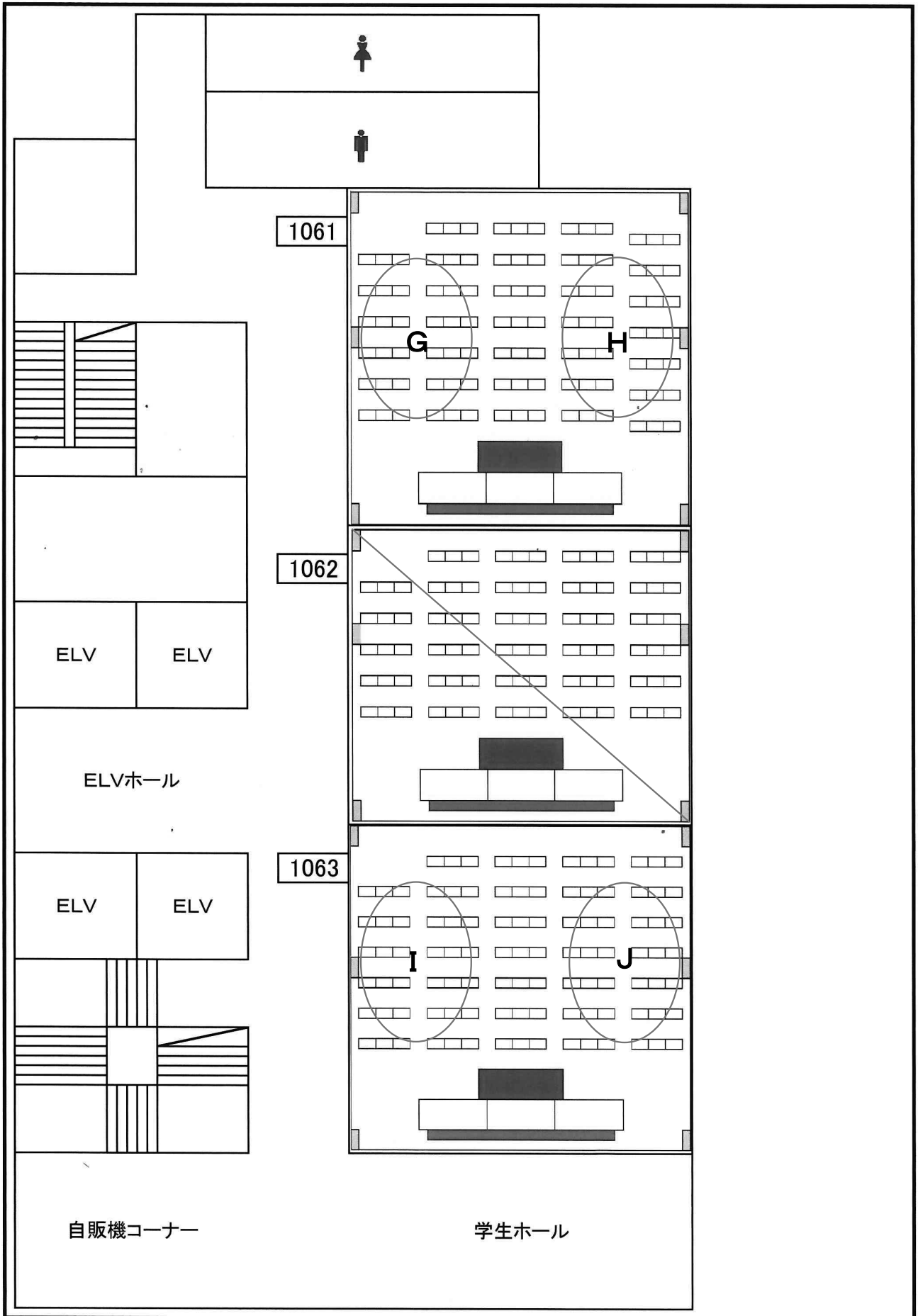
「ちゃみっとーく！発表会」で発表する。(しおりの19ページへ)

MEMO

[オール日大ミーティング用館内マップ]

※マップに従い、班ごとに島を作り、
オール日大ミーティングを行います。





オール日大ミーティング

【場所】法学部10号館 5・6階 各教室

【時間】14:15~14:35

ランチ会・ちゃみっとーく!



ちゃみっとーく!発表会



ランチ会・ちゃみっとーく!で話し合ったものを他の班に対し発表する。

※たとえば、A-1はA-2, B-1, B-2の3つの小グループに向けて発表する。

【ちゃみっとーく!発表会組み合わせ】

A班—B班

C班—D班

E班—F班

G班—H班

I班—J班

「学部ミーティング①」の教室へ戻ろう!

学部ミーティング②へ

MEMO

学部ミーティング②

【場所】 法学部10号館 3～4階 各教室

【時間】 14:45～15:50

【目的】 “学生FD”の認知度を上げるためには、大学全体からよりも学部からのアプローチが大切と考え、今後、生かせる点や改善点の具体策を得る。

学部ミーティング①



オール日大ミーティング



学部ミーティング②

グループ発表を基に「学部ミーティング①」での問題点・評価点から、各学部で今後に生かせそうな点や改善点をまとめる。(14:45～15:15)



1階 1011講堂へ移動 (15:15～15:30)

3学部 (文系・理系・医歯薬系) が発表

(15:30～15:50)

エンディングへ

MEMO



日本大学 学生FD CHAmmit2013 NEWSLETTER

VOL.1

学生コアメンバー第1回ミーティング

“CHAmmit”を企画・運営する学生コアメンバーの初回ミーティングを行いました。



各学部の代表学生が集まる日本大学 学生FD CHAmmit2013 学生コアメンバー

2013年11月16日(土)に日本大学会館大講堂で「日本大学学生FD CHAmmit2013」の学生コアメンバー第1回ミーティングが行われました。異なる学部から集まったせいか、みなさん硬い表情で始まりましたが、アイスブレイク、プチしゃべり場などを通じて次第に打ち解けていきました。当日は、イベントの趣旨説明から実施組織の決定まで約3時間半に渡り、楽しく大学について語り合うなど、今後のイベント企画検討に向けて第一歩を踏み出しました。



学生コアメンバー第1回ミーティング当日のスケジュール

13:30 開始

- ①担当教職員(全学FD委員会プログラムWG)紹介・資料説明等
- ②CHAmmitの趣旨・概要説明(短期大学部船橋校舎 羽入教授)
- ③参考映像視聴(全国規模で実施している学生FDサミットの模様を上映)
- ④アイスブレイク(文理学部学生FDWGによる企画)
- ⑤イベントープチしゃべり場(文理学部学生FDWGによる企画)
- ⑥実施組織(分担)
- ⑦事務連絡
- ⑧挨拶(芸術学部 原教授)

17:00 終了

いきなり企画というわけにもいきませんので、実施に際し、本学で学生FDが先進的に行われている文理学部の学生FDワーキンググループスタッフのみなさんにも学生コアメンバーとして協力をいただいています。ミーティング前に学務部教育推進課員との打合せと簡易リハーサルを行いました。



アイスブレイクで心と体をほぐした後に、イベントで実施することが想定されるプチしゃべり場を行いました。「大学はあなたにとってどんな存在？」をテーマとし約1時間グループ討議を行い、各グループにより発表を行いました。そのあと、学生コアメンバーの代表など実施組織を決定し、終了しました。

次回ミーティングは12月21日に開催し、2月26日当日の企画が決まります。

学生コアメンバー第2回ミーティング

“CHAmmit”の企画案を検討し、骨子を決定しました。

2013年12月21日(土)に日本大学校門会館で「日本大学学生FD CHAmmit 2013」の学生コアメンバー第2回ミーティングが行われました。
2回目ということ、今回から進行も学生となったためか、とても自然な雰囲気で行なわれました。
今回は、第1回ミーティング後にメール等を通じて学生コアメンバーが作成した企画案について検討を行い、企画の骨子を決定することができました。一方で議論を進める中で課題も明確になりました。



学生コアメンバー第2回ミーティング当日のスケジュール

- 13:30 開始
- ①交流タイム
 - ②東洋大学学生FDサミット企画参加報告・法学会会場説明
 - ③過去「学生FDサミット」開催例と学生FDについて(文理学部4年 今宮さん)
 - ④共同企画進捗状況報告(文理学部4年 今宮さん)
 - ⑤企画進捗状況報告と議論(工学部2年 浅野さん)
 - ⑥学生コアメンバー代表スピーチ(商学部3年 瀬良さん)
 - ⑦総括(商学部 村田教授)
- 17:30 終了

まずはじめは交流タイム。改めてコアメンバーの絆を深めるべくお互いを褒めあい、同グループの他己紹介を発表形式で行ないました。グループを変更しながら多くの学生と交流を深めることができました。

学生FD活動について豊富な経験を持つ文理学部4年の今宮加奈未さんが、「学生FDの現状」や「学生FDサミット」について説明を行なってくれました。



企画案等の説明を真剣に聞き入る学生コアメンバー



企画案承認後、企画に関する詳細について学生コアメンバーで真剣な話し合いが行なわれました。今後、決定した企画を基に当日に向けて内容をさらに具体化しながら、いよいよ資料作成・実施準備へと進んでいきます。
次回は2月15日に実際の会場となる法学部にて現場確認やリハーサルなどを行ないます。



学生コアメンバー第3回ミーティング

機材等の操作確認、企画詳細の最終検討、ファシリテーター研修を行ないました。



当日の法学部10号館前

2014年2月15日(土)に日本大学法学部10号館で「日本大学学生FD CHAmmit2013」の学生コアメンバー第3回ミーティング(最終)が行われました。

当日まで10日余りとなる中、大詰めのみーティングとなるはずが、前日からの大雪の影響で、開始予定時刻に集合できたメンバーはわずか4名。大ピンチの開始となりましたが、最終的には交通機関を迂回するなどして、終了までに20名中13名のコアメンバーが法学部にたどり着くことができ、大幅に予定を変更して、内容の最終確認や一部リハーサルを終えることができました。

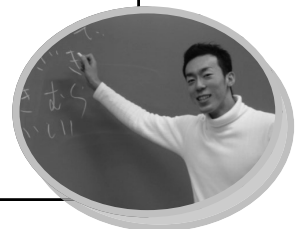
学生コアメンバー第3回ミーティング当日のスケジュール

大雪の影響のため、大幅に予定を変更し、次のとおり実施しました。

10:00~10:40 (メンバーの集合を待ちながらの打合せ)

10:40

- ①機材、設備の確認、使用教室等の確認
 - ②当日の流れの説明、内容の最終検討及びしおりの確認
 - ③リハーサル(ファシリテーター研修、学生参画型企画の実施方法等の確認)
 - ④当日の役割分担決定
- 18:00 終了



大幅な予定変更への対応策を急遽検討する学生コアメンバー



他大学の事例を参考にして、当日を想定したファシリテーター研修を行ないました。



機材使用方法の確認



実際の学生参画型企画を想定して、どのような形式が話し合いに適切かなどを話し合いながら、机の配置などを試行錯誤しながら検討しました。

全学FD委員会プログラムワーキンググループで学生FDを担当している羽入敏樹教授からも企画の問題点を的確に指摘していただくなど、多くの助言をいただきました。



大雪の影響で大幅に予定を変更した最終のみーティングとなりましたが、「日本大学学生FD CHAmmit」当日も迫り、どこか緊張感のあるものとなりました。いよいよ、前日の設営・リハーサルを経て、本番である当日(2月26日)を迎えます。

編集

日本大学 学生FD CHAmmit2013

学生コアメンバー

- 代表：瀬 良 兼 司〔商学部〕
副代表：田 仲 義 典〔経済学部〕
共同企画担当代表：今 宮 加奈未〔文理学部学生FDWG代表〕
企画運営担当代表：浅 野 和香奈〔工学部〕
資料作成担当代表：瀬戸山 自 然〔通信教育部〕
資料作成担当：近 藤 晃 生〔文理学部学生FDWG〕
資料作成担当：安 田 結 城〔文理学部学生FDWG副代表〕
資料作成担当：野 崎 宮 香〔生物資源科学部〕
企画運営担当：石 堂 浩 暉〔文理学部学生FDWG〕
企画運営担当：前 川 貴 恵〔文理学部学生FDWG〕
企画運営担当：渡 邊 阜 暉〔法学部〕
企画運営担当：木 村 圭 汰〔文理学部〕
企画運営担当：中 野 達 也〔芸術学部〕
企画運営担当：森 谷 賢 太〔国際関係学部〕
企画運営担当：石 井 信 行〔理工学部〕
企画運営担当：大 場 眞 依〔生産工学部〕
企画運営担当：谷 原 茉莉子〔医学部〕
企画運営担当：谷 皇 子〔歯学部〕
企画運営担当：鈴 木 昇 建〔松戸歯学部〕
企画運営担当：小 田 薫〔薬学部〕

教職員スタッフ

- 村 田 英 治〔全学FD委員会プログラムWG・商学部教授〕
原 直 久〔全学FD委員会プログラムWG・芸術学部教授〕
羽 入 敏 樹〔全学FD委員会プログラムWG・短期大学部船橋校舎教授〕
並 木 洋 明〔学務部教育推進課長〕
大 嶽 龍 一〔学務部教育推進課課長補佐〕
後 藤 裕 哉〔学務部教育推進課主任〕
田 子 俊 哉〔学務部教育推進課〕

日本大学 学生FD CHAmmit2013

〔編 集〕

〔日本大学 学生FD CHAmmit2013 学生コアメンバー〕

〔発 行〕

日本大学FD推進センター

所管部署：日本大学本部学務部教育推進課

TEL：03-5275-8314

E-Mail：adm.aca.eps@nihon-u.ac.jp



自 主 創 造
日 本 大 学